

# 検査ニュース

No.116

ご挨拶

平素より、佐賀県医師会成人病予防センター業務には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
今回は、「検査内容変更」についてご案内申し上げます。

佐賀県医師会成人病予防センター  
担当理事 志田 正典

## ● インタクト I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact P I NP)

(平成 23 年 7 月 1 日(金)ご依頼分より)

本検査におきまして、男性基準値の変更、および閉経後女性の基準値を追加させていただきます。  
新基準値は、メーカー設定値(文献値)です。また、所要日数を短縮いたします。

項目コード No.	検査項目	変更箇所	新	現
2402	インタクト I 型 プロコラーゲン-N -プロペプチド (Intact P I NP)	基準値	男性 19.0~83.5 閉経前女性 14.9~68.8 閉経後女性 27.0~109.3 (μg/L)	男性 19.5~71.2 閉経前女性 14.9~68.8 (μg/L)
		所要日数	3~7日	3~9日

インタクト I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact P I NP)は、I 型コラーゲンの生成過程で、骨芽細胞から血中に放出される代謝産物です。骨芽細胞分化の初期から産生されるため、骨形成を早期から鋭敏に反映する骨形成マーカーとして期待されています。

### ▼ 【参考資料】骨代謝マーカーの種類

	骨吸収マーカー	骨形成マーカー
コラーゲン代謝	I 型コラーゲン架橋N-テロペプチド (NTx)(骨粗鬆症)	インタクト I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド (Intact P I NP)
酵素活性	骨型酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ (TRACP-5b)	骨型アルカリホスファターゼ(BAP)

## ● 所要日数の変更項目 (平成 23 年 7 月 1 日(金)ご依頼分より)

外部委託先の所要日数見直しによる再設定のため、変更いたします。

案内書 掲載頁	項目コード No.	検査項目	新	現
66	1706	抗ss-DNA IgM抗体 (ELISA)	2~8日	2~5日
66	1704	抗ds-DNA IgM抗体 (ELISA)	2~8日	2~5日
67	1753	免疫複合体 (モノクローナルRF)	2~8日	2~4日
68	1747	抗デスマグレイン1抗体	2~4日	2~6日
68	1748	抗デスマグレイン3抗体	2~4日	2~6日
68	1744	抗BP180抗体 (血清中抗BP180NC16a抗体)	2~4日	2~6日